

第1回訓練から得られた課題 ～ 訓練の進行等について ～

平成18年10月30日(月)
食品安全委員会事務局

オブザーバー参加された専門委員のコメント

- 進行について -

- 訓練の参加者は、シナリオの細部にとらわれることなく、それぞれの場面での対応に重点をおいて考えることが求められていると思うが、このことをオリエンテーションでもう少し強調して説明するべきだったと思う。
- 本当の緊急時の時は、情報量が少ないことは多々あることなので、完璧な情報が得られるのを前提で訓練するのはおかしい。
- 議論の内容やその結果を更に整理して、その中から評価機関として何をどうすべきかなどの対応を展開すべき。

食品安全委員会委員及び事務局職員のコメント

- 進行について -

- シナリオの整合性について議論する場もあり、シミュレーションそのもののやり方について理解されていなかったなので、事前の説明がもっと必要。
- プレーヤーの中にも完全なる進行役と取りまとめ役を設けた方がディスカッションがスムーズに行くのではないかと思う。
- 状況が付与されてから、せめて2～3分だけでも頭の中を整理する時間が必要だったと思う。
- 資料配付は迅速に配付できる体制を整えるべきだったと思う。

食品安全委員会委員及び事務局職員のコメント

- 情報の提示方法について -

- フェーズ毎の情報の提示の仕方をもっとシンプルかつわかりやすくした方が良かった。「状況を分析した結果」として、より主旨を明確にして提示した方が、議論の論点がしぼれたのかもしれない。
- 数字の意味をわかりやすくするような工夫（例えば、前年の原因別食中毒死者数の提示など）が必要だったのではないか。

オブザーバー参加された専門委員のコメント

- 今後作成するシナリオについて -

- 基本要綱の対象としている「緊急事態等に該当する
のか否か、判断のわかるような事態」を想定したシ
ナリオを設定して頂いた方が緊迫感があると思う。
- 情報収集、共有、提供に当たり、関係機関の連携ぶ
りがはっきりするシナリオを期待する。
- 原因食品が複数浮上する設定とした方が緊張する。
- 今回、シナリオ作成者が想定していなかったところ
で参加者が引っかかった部分もあったと思うが、訓
練の目的とする状況設定を損なわない範囲でこうし
た部分を修正すれば、よりよいシナリオができると思
う。

食品安全委員会委員及び事務局職員のコメント

- 今後作成するシナリオについて -

- 詳細なリスク管理機関の対応状況を示したシナリオを作成する方が、より現実的は委員会の対応を検討することができるのではないか。

訓練の進行に関する問題点と対応策（案）

■ 議論がシナリオの精度に誘引される

シナリオの検討を十分に行う。

事前に、シナリオの矛盾点、不整合点等を追及する場ではなく、想像力を働かせ事態の展開とそのときの行動について議論するような場であることを十分説明する。また、訓練の最中も繰り返し、指摘する。

■ プレーヤーがシナリオを理解する時間がない

情報提供内容の提示の仕方を工夫しわかりやすくする。

数字を示している場合は前年比を示す等の工夫をする。

■ 議論が整理されない

プレーヤーの中に進行役と取りまとめ役を設ける。

議論のポイントを整理（議論前・議論中）しながら進める。

机上シミュレーション訓練への課題（案）

- 訓練の事前説明を十分に行う。
- 訓練のねらいに適したシナリオを作成する。
- 議論する際の情報提供内容の提示の仕方を工夫する。
- 議論の段取りを工夫する。